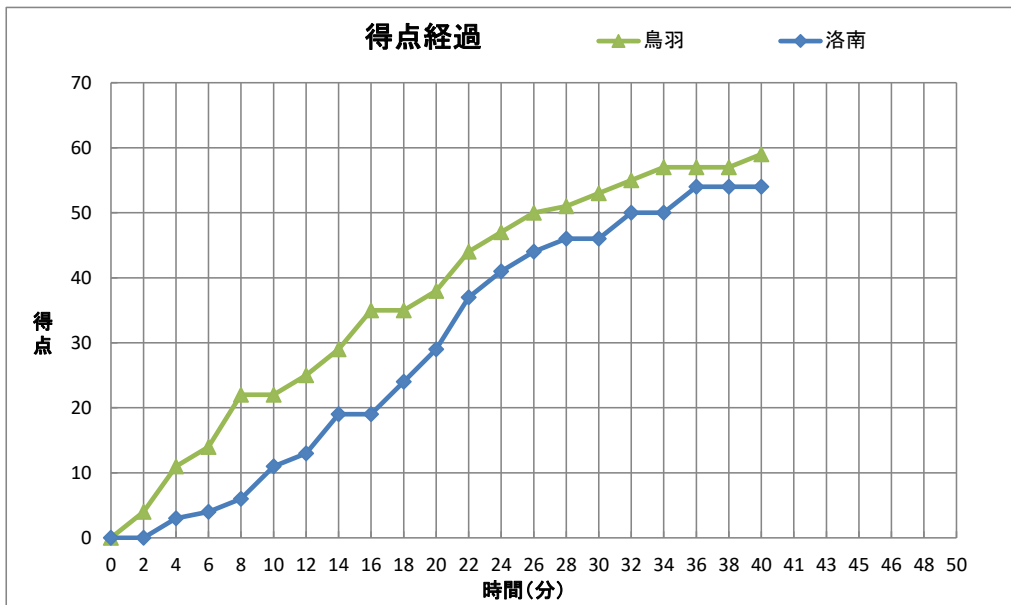




第43回京都府高等学校選手権大会 兼
第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選

個人トータル表

男子		11月5日		11:40 開始														
決勝リーグ		島津アリーナ京都		M														
◎	鳥羽	59	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>18</td></tr> <tr><td>15</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>6</td><td>4th</td><td>8</td></tr> </table>		22	1st	11	16	2nd	18	15	3rd	17	6	4th	8	54	洛南
22	1st	11																
16	2nd	18																
15	3rd	17																
6	4th	8																
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則					
* 0	能勢 陽	8	1	1	3	2	* 4	鬼防 壬陽人	9	1	3	0	2					
2	坂本 立輝	0	0	0	0	0	* 5	井上 涼雅	5	0	2	1	0					
5	関口 奏	-	-	-	-	-	6	和田 天祐	0	0	0	0	1					
10	山村 神楽	-	-	-	-	-	* 7	松本 素	23	0	8	7	4					
11	杉村 虹	0	0	0	0	0	8	中島 悠登	0	0	0	0	1					
13	清沢 光聖	-	-	-	-	-	9	佐々木 凌汰	-	-	-	-	-					
* 21	鬼塚 彩叶	13	3	2	0	3	* 10	小林 祐	3	1	0	0	2					
* 23	河内バー 瀬那	7	0	3	1	3	11	田中 夢大	0	0	0	0	5					
27	笠原 桂斗	2	0	1	0	1	12	池澤 智史	-	-	-	-	-					
29	福島 耕平	0	0	0	0	0	13	井手 巧海	-	-	-	-	-					
34	高久 凌聖	2	0	1	0	0	14	石田 暖光	-	-	-	-	-					
* 36	奥村 将吾	27	3	8	2	0	15	木村 隼	-	-	-	-	-					
38	福龍 光	-	-	-	-	-	16	神原 龍太郎	-	-	-	-	-					
* 43	上田 雄介	0	0	0	0	3	* 17	中西 慶	14	4	1	0	2					
58	吉永 熙龍	-	-	-	-	-	18	菊池 瑛太	-	-	-	-	-					
コーチ	福嶋 一夫					0	コーチ	吉田 裕司					0					
Aコーチ	島崎 道朗						Aコーチ	河合 祥樹										
合計		59	7	16	6	12	合計		54	6	14	8	17					
主審:		加藤 毅																
副審:		大溝 貴広																
副審:		岩木 太郎																



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	26:32	35:52	39:54	:	:	:	:
TeamB	6:05	18:38	29:25	34:50	39:01	:	:	:	:

〔戦評〕

ウインターカップ京都府予選 決勝リーグ第3戦 勝ったほうがウインターカップ出場権を獲得する鳥羽対洛南の対戦。

第1Q、両チームマンツーマンで試合開始。序盤鳥羽は#36の連続得点でペースを掴み、鳥羽が9対0と良い立ち上がりを見せる。洛南も#17の3Pで反撃するも鳥羽の勢いを止めることができず、残り4分で17対4と大きくリードを奪い洛南がタイムアウト。タイムアウト後もなかなか勢いに乗れない洛南に対して鳥羽が22対11とリードして第1Q終了。

第2Q、洛南#7#5がゴール下で得点を重ね点差を縮めるも鳥羽も#23もゴール下で力強さを見せリードを守る。洛南はディフェンスをゾーンに変え変化をつけるが鳥羽#36がシュートを次々と沈め主導権を渡さない。終盤洛南#17が3Pを沈め点差を縮め、38対29の鳥羽リードで後半へ。

第3Q、洛南#17#10が3Pを沈め、鳥羽を追いかける。対する鳥羽も#0#21の3Pで対抗する。洛南#7が力強くドライブで連続で加点し点差を縮めていく。終盤お互い点数が入らない時間帯が続くが、激しいディフェンスから速攻を決めた鳥羽が53対46とリードを維持して最終Qへ。

第4Q、早く追いつきたい洛南はゾーンプレスでプレッシャーをかけるが、鳥羽は落ち着いて対処していく。スコアレスの展開の中#7のゴール下で残り時間4分で点差を3点とする。鳥羽#36が緊張感の展開の中落ち着いてジャンプシュートを決め、点差を広げる。最後までリードを守った鳥羽が59対54で勝利し、ウインターカップ出場権を手にした。